乗り越えよう新型コロナウイルス

よこね田んぼ 田植え

親子での田植え

千代小学校　五年担任　亀山　翔平

五月二十二日（金）に、千代小学校五学年でよこね田んぼの田植えに参加しました。例年は全校での参加でしたが、本年度は新型コロナウイルスの影響で五学年のみとなりました。児童七人、担任一人の計八人という少人数での取り組みになり、人手がいた方が良いという話が出ました。そこで、教頭先生から親子での取り組みにしたらどうかという提案をしていただき、親子での参加となりました。急な申し出でしたが、三つの家庭が親子で参加してくれました。

おうちの人からは、子どもの頃以来だった、親子で楽しく取り組めたという言葉をいただきました。元気においしいお米が育つことを願い、稲刈りも親子で取り組みたいと考えています。

すっきりした田植え

千代小学校　五年生　市瀬トーヴェンリー

ぼくは、最初は田植えは全然やりたい気持ちではなかったのですが、やり終えると、とっても気持ちがすっきりしました。

お母さんも田植えに来ていたので少しはがんばる気持ちになれましたが、どうしても時間が気になってしまいました。でも、少しずつ、少しずつやっていき、終わったころにはとてもいい気分でした。

田植えといねかりでは、ぼくはいねかりの方が好きなので、田植えを先にやればあとは好きな方が残っているのがうれしいです。

千代保育園田植え

主任保育士　清水　由理

保育園の田植えを、保全会の方々に御協力いただき五月二十七日（水）に行いました。保育園の田ん ぼ以外は田植えが済んでおり、今までと景色が違う中での田植えとなりました。年長さん達が田んぼへ足を入れるとその感触に思わず笑顔になり、苗を大事に植えると、「できた！」と、又笑顔になりました。見ていた年中・年少さん達も「やってみたい！」と大きい人達の姿を真似て田植えを経験しました。恒例のどろんこ遊びはおあずけでしたが、よこね田んぼに苗が揃った、トリを務めさせていただいた思い出深い田植えとなりました。

『新しい生活様式』と熱中症予防

千代地区保健師　今村　早也香

『新しい生活様式』をご存知ですか？新型コロナウイルス対策の３つの基本である①身体的距離の確保、②マスク着用、③手洗いの実施や３密（密集、密接、密閉）を避ける、等を取り入れた日常生活のことです。厚労省が新しい生活スタイルとして推奨しています。

感染拡大防止のためにマスク着用が推奨されていますが、それにより熱中症のリスクが高まることに注意が必要です。なぜ、マスクで熱中症のリスクが高まるのでしょうか。皮膚からの熱が逃げにくくなることや、喉の渇きを感じにくく脱水にも気づきにくいということが言われています。

では、新型コロナ対策と熱中症予防を両立させるにはどうしたらよいでしょうか。まず、涼しい場所へ移動すること、涼しい服装で過ごすことが基本になります。また、喉が渇いていなくてもこまめに水分補給をしましょう。目安としては１時間毎にコップ１杯程の水分をとりましょう。その他、マスク着用時は激しい運動は避けましょう。また、屋外で人との距離が２ｍ以上確保できる場合はマスクを外すことも熱中症予防に繋がります。

新型コロナ対策をしつつ、暑い夏も乗り切りましょう！

新酒「よこね」発売開始！

よこね田んぼの清水、陽射しをいっぱい浴びた酒米・たかね錦から今年も旨い酒が出来ました。昨年はたかね錦とうるち米のブレンドで作りましたが、今年はたかね錦を増産し一〇〇％で作り上げました。

試飲をしましたがマイルドでコクがあり、ますます旨くなりました。

又たかね錦一〇〇％に中身を変えたこともありネーミングもわかり易く、純米酒「よこね」に変更しラベルも一新しました。

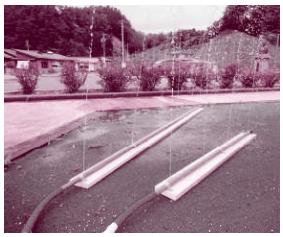
よこねの酒づくりは日本の棚田百選「よこね田んぼ」の美しい景観・伝統・文化を守り続けるため、よこねと喜久水酒造が連携・協調した取り組みです。

ぜひお試しください、又地元の特産品として贈答などにもご利用してください。

販売価格
箱入り¥1,700・箱なし¥1,600
購入・問い合わせ窓口
千代自治振興センター
TEL 0265-59-2003
NPO 里山ベーす理事（野田）
TEL 090-5463-8335

暑い夏を涼しく！

地域木材を使用した噴水装置を制作しました。お子様の水遊びに、お庭や畑の水撒きに、そして作業場のトタン屋根の冷却など使い方は様々。2㎡二千五百円と1㎡二千円の2タイプご準備しています。お問合せ先はよこねのお酒と同じです。



消防団活動について

飯田市消防団第十三分団　分団長　清水　慎吾

まず初めに、地域の皆様を始め、ご関係者の方々にはいつも大変お世話になっております。今年は新型コロナウイルスの影響により生活に大きな変化がありました。そして消防団活動も自粛せざるを得ないという状況にもなってしまいました。その影響により非常招集訓練、操法技術大会など中止となってしまいましたが、様子を見ながらではありますが徐々に消防団活動を再開しております。そして有事の際にはいつでも活動が出来る体制を整えております。最近では熊本県で記録的な大雨による水害が発生してしまいました。ここ南信地区では南海トラフ地震が予測されています。いつ発生しても家族の命、自分の命が守れるよう日頃からの備えを大切にして下さい。我々消防団も地域の皆様のお力になれるよう活動して参ります。今後もご協力の程、宜しくお願い致します。

イナズマ

暑さも本番、水の冷たさが、心地良く、楽しい季節となったが、昨今のプール事情は少々変わってきている。

小さな子達は『ラッシュガード』を着て水遊びをしたり、学校では天気の良い暑い日に、熱中症対策からプールの授業が中止になることもある。

今年、竜東中学校はプールの老朽化ということもあり、近くの屋内水泳施設を借り授業を行う、モデル校になっている。

また、今年は新型コロナウイルスの感染予防から、海水浴を禁じている海岸も出てきている。

私は子どもの頃、夏休みは毎日プールに通い、休み明けの『まっ黒大会』で優勝した。あの頃は黒い事が、元気で健康の証のように考えられており、随分、誉めてもらった。その時もらった金メダルは私の宝物だった。

オゾン層の破壊による、地球温暖化、新型コロナウイルスと私たちをとりまく環境は、大変厳しいものとなっている。

波の打ち寄せる、広い海での海水浴。体の芯まで、ジィーンとする冷たい水での川遊び。庭で水を張ってもらったプール遊び。どれも心配することなく、思いきり、子ども達に体験させてあげたい。

身の回りで出来る事をやり、安全に水を感じる環境を守っていきたい。

館報千代
第311号
発行　千代公民館
編集　広報委員会
印刷　龍共印刷株式会社

＜千代の人口＞
令和２年６月末日現在
男　772名（－７）
女　855名（－８）
合計　1,627名（－15）

商工会 千代支部 マスク寄贈

飯田商工会議所千代支部（小嶋啓二支部長）は六月一日（月）、千代まちづくり委員会にプリーツ型マスク千枚を寄贈した。

同支部が五月に新体制となり、「新型コロナウイルス感染防止のため、地区にできることを」とマスク寄贈を企画し、三層構造の不織布マスクを支部会員の非業所が手配し贈った。

自治振興センターで開いた贈呈式で小嶋支部長は「地区のお年寄りが少しでも安心して暮らせるようにとの思いを込めた」と話した。

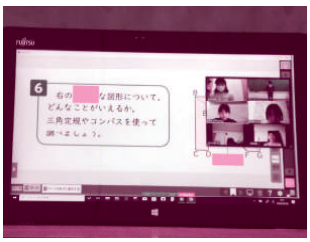
まちづくり委員会の関口会長は「新型コロナウイルス感染症は高齢者が重症化する傾向があるため、高齢者が多い地区では、主要な予防策であるマスクをいただけるのはありがたい」と感謝した。

贈呈されたマスクは健康福祉委員会を通していきいき教室などで配布しウイルス感染防止に活用される。

オンライン授業を試みて

千栄小学校　校長　大池　世佳

休校中、児童の健康と学習に心を痛めておりました。そんな折、オンライン授業に躊躇していたところ「そのためにわらびのお金でタブレットを買ってきたんだで、どんどんやってくれりゃあいくらでも協力するに」と保護者の皆様から強い後押しがあり、六年生をテストケースにオンライン授業を始めました。理解度は落ちるであろう、話し合いは無理と考えていました。が、渋然と授業を映すのではなく、ホワイトボード機能で黒板を手元で見られるようにし、教科書の問題を取り出して児童に送る工夫をすることで、予想に反し効果は上がり、教室の学習と何ら変わることはありませんでした。第二波を考え、五年生以下でも使えるよう体制を整えています。家庭のインターネット環境を使わせていただくこの授業は、保護者の皆様の協力が一番の鍵であったと実感しております。紙面をお借りし感謝致します。



旧千遠線（千代峠）調査

五月三十日（土）、千代峠の整備に向けた下見が行われた。

千代峠は千代から南信濃木沢へ通じる「旧千遠線」と呼ばれる街道である。その歴史は、天文二十三年、武田軍に攻められた知久氏が、逃亡のために歩いたことから始まる。

整備下見は、林道千遠線の泰阜村側から始まり、千代峠を通って唐沢の滝付近へ出る道を辿った。途中、登山道が消えかかっている箇所も見受けられ、登り口で言われた「よく踏んで足跡を付けながら歩くように」との言葉を改めて理解した。

六時間にわたって行われた下見調査の結果、整備が必要なのは大きく七か所。歴史ある千代の街道であり、整備が望まれることはもちろんだが、これから先多くの人に歩いてもらい、将来に続く道となってもらいたい。

キラリ千代人 ファイル№006

千代にお住まいの「千代の事を考え愛している方」「すごい特技を持っている方」素敵な趣味を持っている方」など、キラッと輝いている方を広く大勢の方に紹介したいと思います。

今回はその一人、関口兼善さんを紹介いたします。

関口兼善（かねよし）さん（七十八才）
法全寺在住

法全寺在住の関口さんはかねちゃの愛称で呼ばれています。地元の小学校に炭焼きや、きのこ栽培、竹とんぼの製作などの指導や、文化祭では、創作教室でしめ縄や、おやす作りなどを体験してもらい後世に伝えてもらいたいとの思いでやっているとお聞きしました。

千代が過疎だと言われていた時から万古渓谷沢渡りツアーを行って千代を活性化しようと取り組まれたようです。その後法山同志会と共に平成九年からツアーに参加し、現在でも万古渓谷会の一人として活躍されています。

平成一年には千代峠で南信濃の木沢の人たちとの交流を始めて、道の整備に汗を流したお話を聞きました。また民泊もやられていて、こどもたちに、ライ麦の茎を使って虫かごを製作して、自宅に持ち帰ってもらっているそうです。そういった体験は将来大人になった時役に立つ時が来る、また訪ねてきてくれる事があれば嬉しいと語ってくれました。

現在は「千代ネギ会」「アサギマダラの会」の会長をされて、多岐にわたり活躍されています。

万古渓谷栃のホツアー

楽しかった栃のホツアー
千代小六年　長沼　亮佑

栃の木ツアーで楽しかったことが三つあります。

始めは栃の木の大木まで下りる時、急な坂ですべりやすかったけれど、友だちと一緒に話しながら下りたことが楽しかったです。次に唐沢の滝のすぐ近くで、お弁当を食べたことです。滝の水しぶきがとんできたけれど涼しくて気持ちよかったです。最後は、唐沢の滝で遊んだことです。冷たい水だったけれど、魚が沢山いました。捕まえようとしたけれど、泳ぎが速くて捕まえられませんでした。

六年生で初めていったツアーでしたが、もっと早く来ていたらよかったと思いました。

自然を堪能！栃のホツアー
千栄小五年　藤本　心美

六月二十七日（土）に栃の木ツアーに参加しました。

参加を応募したときから楽しみにしていました。

最初に、栃の木がある場所まで下りていきました。すごく急な下り坂でした。下りていくと『栃の木』がありました。高さ約二十m、木の周りの長さは約八mの巨木です。その後に普通は沢を登りますが、時間短縮のために来た道を戻りました。急な上り坂を上がっていくのは大変そうでしたが、意外と楽でした。

次に、唐沢の滝で川遊びをしました。千栄小の五年生で滝の下に行きました。水が冷たくて最初は行けませんでしたが、頑張って二秒くらい入れました。

昨年から楽しみにしていた栃のホツアーに参加できたので、すごくうれしかったです。来年も参加したいです！

土砂災害発生

梅雨前線に伴う六月末からの連日の雨により地盤が緩み地区内で土砂災害が発生した。今後台風シーズンを控え、防災について今一度ご家庭で確認しておくことが必要です。

告知板

○八月三十日（日）
「地震防災訓練」
○九月十二日（土）
「ウォークラリー大会」
○九月二十五日（金）
｜二十六日（土）
「竜東中文化祭
『雲母が丘祭』」
○九月二十六日（土）
「よこね収穫祭」

戸籍の窓

○かなしみ
嶋岡　賢一　八十四才
北澤　こはる　夫（田力）
トミエ　幸夫　母（田力）
中山　郁雄　九十才
均　父（山中）